

中間評価（ステージゲート審査）結果

1. 研究課題名： スパース非線形低次元モデルによる複雑流動場の先進フィードバック制御
2. 研究代表者： 野々村 拓（名古屋大学 大学院工学研究科 教授）
3. 中間評価（ステージゲート審査）コメント

本課題は、新規アルゴリズムを用いた複雑流動場の高解像度計測によるデータベースの構築、データベースに基づいた複雑流動場の非線形低次元モデルの構築、スパースセンサとスパースアクチュエータの最適化技術の開発、これらを用いて複雑流動場の先進フィードバック制御を実現することを目指している。フェーズ1では、当初の目標について研究が順調に進んでおり、一部はフェーズ2で予定していた内容にまで踏み込んでおり、論文発表や受賞も多く、当初計画以上の研究成果が得られたことは評価できる。フェーズ2では、最終的に3次元形状への適応を狙った挑戦的な計画を立てており、進展に期待する。

以上